

南地域のスポーツ環境の充実を求める請願

町田市におかれましては、日頃より地域スポーツの振興に尽力頂いている事に心から感謝申し上げます。また、これまで「スポーツ環境の整備及び魅力ある地域社会の形成」「スポーツを通じた健康の保持及び増進に関する知識の向上」などの理念の下、『町田市スポーツ推進計画』を推進する事に賛同するところです。

この度は南地域のスポーツをする環境についてスポーツ行政の理念と実態を鑑みて改めて『町田市スポーツ推進計画』の理念に沿う環境の充実を求める次第です。

この間町田市の南地域のスポーツ環境は、それぞれの市内小中学校の学校開放をはじめ金森西田スポーツ広場及び成瀬鞍掛スポーツ広場、鶴間公園と大規模なスポーツ広場を有する地域であります。このようなスポーツ環境に連動し町田市内でも人口が充実している地域でもあります。しかし、鶴間公園スポーツ広場は町田市の南町田駅周辺地区拠点整備計画の鶴間公園再整備事業により使用出来なくなり、2018年度には金森西田スポーツ広場が東京都の調節池整備計画のために立て続けて使用出来なくなりました。

2017年度実績では金森西田スポーツ広場は年間約3万人の地域住民やスポーツ利用者がおり、鶴間公園でも利用出来ていた時期には、これ相応の利用者がおりました。この広場利用者がこの短期間でスポーツをする環境を失い、「スポーツ難民」となりました。また、追い打ちをかける様に2019年度予算には成瀬鞍掛スポーツ広場の整備計画が打ち出され、基本設計が可決されました。このまま計画が進めば来年度には実施設計に入り、その翌年には整備工事に入り広場が使用出来なくなります。

仮にこのままこの3箇所のスポーツ広場の工事が計画通りに進めば金森西田スポーツ広場も工事期間が約8年間である事から、年間約4万人が使用している成瀬鞍掛スポーツ広場を含めて年間利用者が南地域だけで7万人の年間利用者が「スポーツ難民」となる計算になります。町田市はこの間「代替地を探す」と様々な機会に答弁しておりますが、南地域には代替地を確保する程の土地はなく、現在ほとんどの利用者が未だ代替地が叶わず、困難を極めていく状況にあります。また、鶴間公園のスポーツパークが本年の11月前後に

使用可能となるとはいえ、これまでとは利用方法や管理体制が変わり代替地として「スポーツ難民」が解消されるとは言い難い状況であると考えます。現に金森西田スポーツ広場を利用していた団体の一部は近く整備工事に入る予定の成瀬鞍掛スポーツ広場に代替地を求めています。既に南地域において存続出来なくなるスポーツ団体も多く出て、解散を余儀なくされ、解散したスポーツ団体も出てきています。

このままでは町田市の打ち出す『町田市スポーツ推進計画』の施策である、「地域におけるスポーツの推進」「市民スポーツの環境づくり」「スポーツのまちづくり」という基本理念が全く機能する事が出来ない状況になると危惧するところです。

よって南地域におけるスポーツ環境の充実を切に求め、請願致します。

請願項目

- 1 南地域のスポーツをする環境整備を充実して下さい。
- 2 金森西田スポーツ広場及び鶴間公園、成瀬鞍掛スポーツ広場の利用団体がこれまで通りにスポーツが出来るよう、代替地を含め早急に対応して下さい。
- 3 現状通りにスポーツが出来る環境（代替地等）が整わない場合には、現在の計画（実施している計画を含む）を延期または中止して下さい。